



5月の主な行事

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1日 : メーデー | 11日 : 母の日 |
| 3日 : 憲法記念日 | 12日 : 看護の日 |
| 4日 : みどりの日 | 16日 : 旅の日 |
| 5日 : こどもの日 | 17日 : 世界電気通信記念日 |
| 8日 : 世界赤十字デー | 31日 : 世界禁煙デー |



今月のかわら版 : 1 「お母さんに感謝！」

5月の第2日曜日は母の日。お母さんに「いつもありがとう」という感謝の気持ちをこめてカーネーションを贈るのが定番ですね。

母の日はアメリカで始まったと言われています。1908年、アメリカ・ヴァージニア州のクリスチャンの女性が、自分を苦勞して育ててくれた母親の命日に追悼の意をこめて、お母さんが好きだった白いカーネーションを協会の参列者一人一人に捧げお母さんへの感謝を表しました。このことが参列者に大きな感動を与え、その後アメリカ中に風習として広がっていったそうです。やがて、当時のアメリカ大統領が、5月の第2日曜日を母の日として制定しました。日本に母の日が伝わったのは、大正時代頃に教会で母の日を祝ったのが始まりで、それが徐々に一般に広まったと伝えられています。

母の日の由来ともなったカーネーション。母親が健在な人が赤、亡くなった人は白のカーネーションをつけるという風習もあります。現在では、みんな赤いカーネーションをつけるのが一般的なようです。赤いカーネーションの花言葉は「母の愛情」、母の愛を象徴する花であり、また5月の誕生花でもあります。

毎日の忙しさにまぎれてしまい、なかなか改めてお礼の言葉など言いにくいものです。年に一度、お母さんへのありがとうの気持ちをこめて、心からの感謝を贈りましょう。



今月のかわら版 : 2 「Golden Weekはエコで行こう！～Golden WeekはGreen Weekに～」

2008年となり、とうとう京都議定書の第1次約束期間が始まりました。これから2012年までの5年間で、日本はCO2（二酸化炭素）に代表される温室効果ガスを1990年比で6%削減しなければなりません。達成は非常に厳しい状況です。政府としては今年2月に、目標達成計画の見直しを行い、企業や国民の行動変革を柱とする削減に向けた取り組みの強化策を発表したところです。

こうした状況を受け、小池百合子元環境相は記者会見で「GWはグリーンウィークに」とのキャッチフレーズで、「4月29日～5月6日の連休中はCO2をなるべく出さずに過ごそう」キャンペーンを始めると発表しました。6%削減の為に、家庭から排出されるCO2の大幅な削減が不可欠であり、家庭内での削減意識を高めて行く為のキャンペーンとして企画されたものと思われます。

日本の暦では、365日のうち3割が休日になります。休日の過ごし方を見直すことでCO2削減が大幅にはかかると見込まれています。旅行やイベントに出かけるときにマイカーの利用を止め、電車等の公共交通機関を利用するのも、立派なCO2削減の行動につながります。



例えば、東京に住んでいる家族4人が横浜中華街へ出かけた場合のCO2排出量は、マイカー利用の場合は12kg、電車利用の場合は5kgとなります。この家族が年間で6回横浜中華街へ行くのをマイカー利用から電車利用に変えた場合は、1年間で42kgのCO2の削減につながります。林野庁のHPによると、1本の杉が1年間かけて吸収できるCO2の量は約14kgということですので、このケースでは3本の杉の木を植えたことと同じこととなります。

また、費用面から見てみると、4人で家用自動車は5000円前後（高速代+ガソリン代+駐車料金）、電車では4000円前後となり、一人当たりの費用は電車利用の方が少なくすみ、予算的にはおいしい料理をもう一品追加することができるかもしれません。

今年のGolden Weekは、「Green Week（グリーンウィーク）」と称して、環境にも家計にも優しい過ごし方を考えられてはいかがでしょうか？

【CO2算出方法】
 マイカーの場合：燃費1L = 10km、距離26km（高速道路利用）、CO2排出量 = 2.322kg / L
 電車の場合：距離32km、CO2排出量 = 19g / 人・km
 （交通エコ・ビル財団のデータより）